



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月7日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774)44-4923  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,764	4.1	1,620	10.3	1,657	11.1	1,169	12.9
2020年3月期	7,460	6.7	1,469	5.1	1,491	6.6	1,035	7.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	53.98	53.74	14.3	15.1	20.9
2020年3月期	47.79	—	14.0	15.1	19.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	11,585	8,581	74.0	396.13
2020年3月期	10,356	7,744	74.8	357.45

(参考) 自己資本 2021年3月期 8,578百万円 2020年3月期 7,744百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,378	△88	△331	3,387
2020年3月期	1,300	△563	△299	2,429

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	322	31.1	4.4
2021年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	354	30.3	4.3
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		32.1	

(注) 当社は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	8,004	9.3	1,666	2.8	1,684	1.6	1,178	0.8	56.11

（注） 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を適用しております。また、対前期増減率は組替後の2021年3月期の業績を基礎に計算しております。詳細につきましては、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	24,744,300株	2020年3月期	24,744,300株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,089,380株	2020年3月期	3,078,670株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	21,659,482株	2020年3月期	21,667,502株

（注） 当社は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの企業が事業活動の制限を強いられ、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後も再び感染が拡大するなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましても、今後の感染状況による影響は不透明であり、美容室の来店客数や業績への影響については、まだまだ予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプーおよびトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進することで、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開いたしました。コロナ禍におきましても、営業担当者を中心に定期的なPCR検査を実施する等の感染症対策を十分に行いながら、お取引先美容室に対して、対面とオンラインによる営業活動を通じて徹底的に寄り添い、業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、コロナ禍においても店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーや、2020年9月に発売した整髪料の新製品「コタスタイリング ベース B7 エア」の販売が好調であったことから、前期実績を上回ることができました。

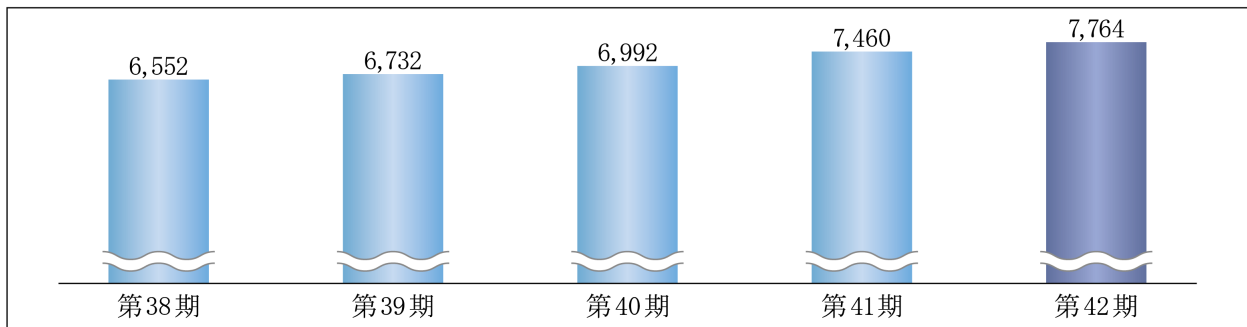
また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前期実績を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前期実績を上回りました。

これらの結果、当事業年度につきましては、売上高は7,764百万円（前期比4.1%増）、営業利益は1,620百万円（前期比10.3%増）、経常利益は1,657百万円（前期比11.1%増）、当期純利益につきましては、1,169百万円（前期比12.9%増）となりました。

また、売上高は23期連続の増収、営業利益、経常利益は8期連続、当期純利益も2期連続の増益となり、いずれも過去最高となりました。

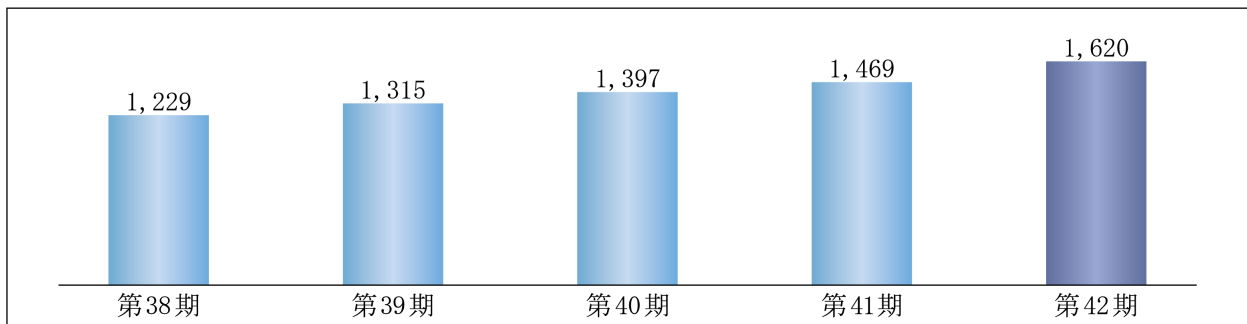
売上高

(単位:百万円)



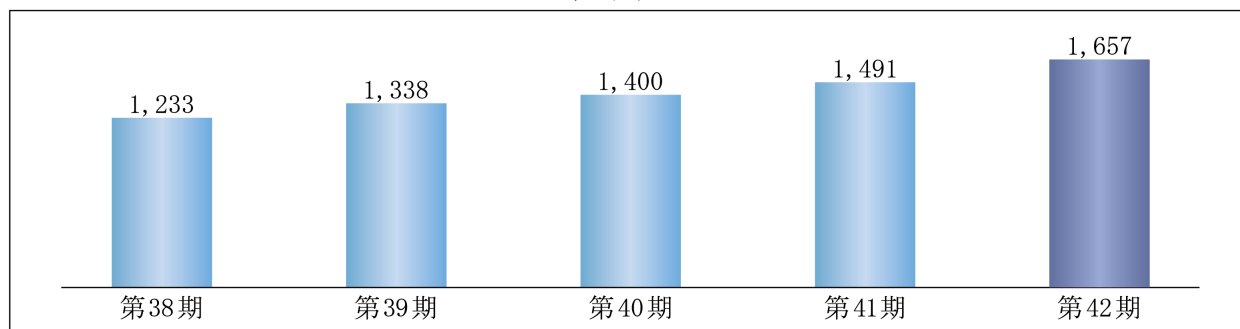
営業利益

(単位:百万円)



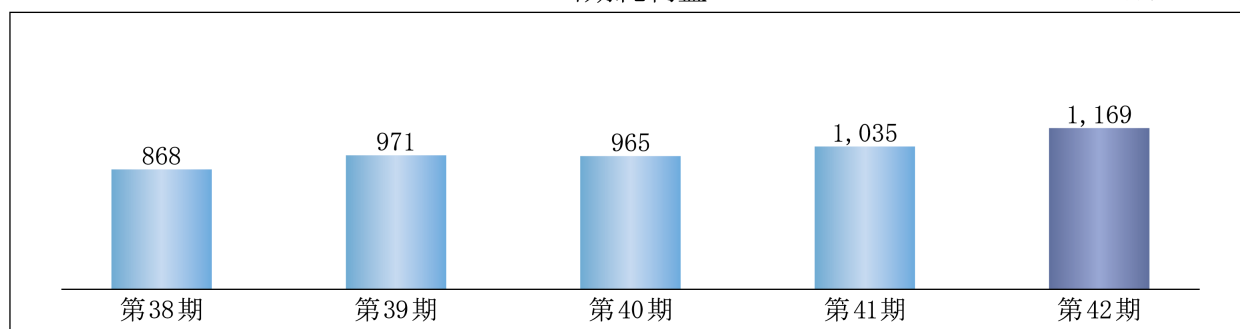
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前事業年度		当事業年度		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレットリー	5,471	73.3	5,598	72.1	127	2.3
整髪料	1,183	15.9	1,383	17.8	199	16.9
カラー剤	327	4.4	311	4.0	△15	△4.8
育毛剤	253	3.4	282	3.6	28	11.3
パーマ剤	123	1.6	114	1.5	△8	△7.2
その他	101	1.4	73	1.0	△27	△27.2
合計	7,460	100.0	7,764	100.0	303	4.1

当社では、「美容室の繁栄が当社の繁栄につながる」という基本的な考え方のもと、具体的な戦略として、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング(コンサルティング・セールス)を展開し、トイレットリー(シャンプー、トリートメント等)の販売を中心とした「店販」を戦術として、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。そのため売上高に占めるトイレットリーの割合は70%程度となっており、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

【新型コロナウイルス感染症に関するリスク】

当社製品は美容室内で美容師が使用することを前提とした製品（美容室専売品）であり、小売店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）やインターネットでは取り扱っておりません。したがって、当社の業績は美容室の経営状態と連動する傾向があり、具体的なリスクとしましては、美容室の営業制限、来店客数の減少、消費マインドの低下等が考えられます。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当事業年度の総資産は、前事業年度から1,229百万円増加し、11,585百万円となりました。

主な要因としては、有形固定資産が594百万円、現金及び預金が457百万円、商品及び製品が139百万円、原材料及び貯蔵品が51百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度の負債は、前事業年度から392百万円増加し、3,004百万円となりました。

主な要因としては、資産除去債務が138百万円、未払法人税等が70百万円、退職給付引当金が53百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度の純資産は、前事業年度から837百万円増加し、8,581百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が846百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、74.0%（前事業年度74.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末から957百万円増加し、3,387百万円（前期比39.4%増）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,378百万円（前期比77百万円増）となりました。

収入の主な要因としては、税引前当期純利益1,657百万円及び減価償却費174百万円によるものであります。

支出の主な要因としては、法人税等の支払いによる支出446百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、88百万円（前期比475百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入2,500百万円によるものであります。

支出の主な要因としては、定期預金の預入による支出2,000百万円及び有形固定資産の取得による支出551百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、331百万円（前期比32百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出322百万円であります。

(4) 今後の見通し

2022年3月期につきましては、新型コロナウイルスによる影響は引き続き不透明であります。お取引先美容室の来店客数および業績は回復傾向にあります。

このような経営環境において、美容室の業績向上に資することができる独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を展開することで、当社はお取引先美容室のより一層の業績向上に取り組み、美容業界の発展と近代化に引き続き注力する考えであります。

コロナ禍におきましても、美容室における店販の需要は底堅く、その重要性も再認識されており、さらに消費者からの高付加価値製品へのニーズも高まっております。2021年5月には、トイレタリーの新製品「コタクチュール」の発売を予定しており、主力のトップブランドとして推進し、例年以上にトイレタリーの売上高が増加することが見込まれます。一方、さらなる成長のための人材の獲得と育成、設備投資等につきましても、継続して行う予定としております。

これらの施策を進めることにより、2022年3月期の業績は、収益認識基準(注)を適用し、売上高8,004百万円(適用前8,500百万円)、営業利益1,666百万円、経常利益1,684百万円、当期純利益は1,178百万円を見込んでおります。

なお、当該基準の適用前と適用後における2021年3月期との業績比較は、以下のとおりとなります。

	売上高 (適用前)	売上高 (適用後)	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期 業績予想(A)	8,500	8,004	1,666	1,684	1,178
2021年3月期 業績(B)	7,764	7,324	1,620	1,657	1,169
増減額 (A-B)	735	679	45	26	8
増減率(%)	9.5	9.3	2.8	1.6	0.8

上表の網掛け部が、本決算短信のサマリー情報「3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)」となります。

(注) 2022年3月期の業績から、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を適用しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業ドメインは現在、主に日本国内であることから、当面は日本基準を採用することとしております。今後、海外での活動状況や、外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,929,513	5,387,279
受取手形	26,154	23,153
売掛金	1,177,107	1,163,564
有価証券	100,000	50,000
商品及び製品	634,047	773,708
仕掛品	27,944	30,249
原材料及び貯蔵品	281,875	333,295
前渡金	21,935	—
前払費用	22,825	28,544
その他	8,268	23,737
貸倒引当金	△30	△50
流動資産合計	7,229,641	7,813,482
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,372,449	2,702,163
減価償却累計額	△1,337,041	△1,389,124
建物(純額)	1,035,408	1,313,038
構築物	105,541	105,541
減価償却累計額	△91,158	△94,619
構築物(純額)	14,383	10,922
機械及び装置	691,487	702,833
減価償却累計額	△670,926	△677,300
機械及び装置(純額)	20,560	25,532
車両運搬具	174,488	168,550
減価償却累計額	△140,985	△142,816
車両運搬具(純額)	33,503	25,734
工具、器具及び備品	521,915	559,375
減価償却累計額	△476,828	△497,050
工具、器具及び備品(純額)	45,086	62,325
土地	1,158,906	1,353,039
建設仮勘定	—	112,007
有形固定資産合計	2,307,848	2,902,600
無形固定資産		
ソフトウェア	97,962	44,797
ソフトウェア仮勘定	—	4,619
その他	6,171	6,093
無形固定資産合計	104,133	55,509
投資その他の資産		
投資有価証券	192,729	192,963
長期貸付金	24,538	21,989
長期前払費用	10,511	7,528
差入保証金	118,858	196,452
繰延税金資産	364,162	391,361
その他	3,800	3,800
投資その他の資産合計	714,600	814,095
固定資産合計	3,126,582	3,772,205
資産合計	10,356,224	11,585,688



(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,862	221,157
未払金	540,335	627,257
未払費用	174,387	192,981
未払法人税等	357,820	428,695
未払消費税等	122,927	92,511
預り金	25,541	22,537
賞与引当金	232,313	247,842
役員賞与引当金	—	1,250
販売奨励引当金	46,559	47,658
流動負債合計	1,653,747	1,881,891
固定負債		
退職給付引当金	183,111	236,218
役員退職慰労引当金	584,728	563,605
資産除去債務	48,523	187,278
長期預り保証金	141,723	135,223
固定負債合計	958,086	1,122,325
負債合計	2,611,834	3,004,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金		
資本準備金	330,800	330,800
その他資本剰余金	88	213
資本剰余金合計	330,888	331,013
利益剰余金		
利益準備金	46,800	46,800
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	86,918	83,891
別途積立金	4,100,000	4,100,000
繰越利益剰余金	5,065,869	5,915,785
利益剰余金合計	9,299,588	10,146,476
自己株式	△2,274,959	△2,288,387
株主資本合計	7,743,316	8,576,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,073	1,235
評価・換算差額等合計	1,073	1,235
新株予約権	—	3,333
純資産合計	7,744,389	8,581,471
負債純資産合計	10,356,224	11,585,688

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	7,359,683	7,690,685
商品売上高	36,227	30,841
その他	65,019	42,867
売上高合計	7,460,930	7,764,394
<b>売上原価</b>		
製品期首たな卸高	529,370	622,172
当期製品製造原価	2,134,655	2,239,455
合計	2,664,026	2,861,628
製品他勘定振替高	219,431	235,511
製品期末たな卸高	622,172	760,076
製品売上原価	1,822,421	1,866,039
商品期首たな卸高	5,951	11,874
当期商品仕入高	41,884	30,777
合計	47,836	42,652
商品他勘定振替高	6,458	3,384
商品期末たな卸高	11,874	13,631
商品売上原価	29,502	25,636
売上原価合計	1,851,924	1,891,676
売上総利益	5,609,006	5,872,718
販売費及び一般管理費	4,139,408	4,251,821
営業利益	1,469,597	1,620,897
<b>営業外収益</b>		
受取利息	2,123	2,476
有価証券利息	867	842
受取配当金	1,413	805
受取賃貸料	6,258	5,768
業務受託料	9,600	9,600
受取補償金	—	45,859
その他	4,850	9,965
営業外収益合計	25,113	75,318
<b>営業外費用</b>		
賃貸費用	1,188	1,307
支払手数料	—	34,058
固定資産除却損	466	1,114
その他	1,148	2,286
営業外費用合計	2,802	38,767
経常利益	1,491,908	1,657,447
税引前当期純利益	1,491,908	1,657,447
法人税、住民税及び事業税	512,826	515,531
法人税等調整額	△56,467	△27,270
法人税等合計	456,359	488,260
当期純利益	1,035,549	1,169,187

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	387,800	330,800	54	330,854	46,800	90,248	4,100,000	4,320,080	8,557,129
当期変動額									
剰余金の配当								△293,090	△293,090
当期純利益								1,035,549	1,035,549
固定資産圧縮積立金の取崩						△3,330		3,330	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			33	33					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	33	33	—	△3,330	—	745,789	742,458
当期末残高	387,800	330,800	88	330,888	46,800	86,918	4,100,000	5,065,869	9,299,588

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△2,267,619	7,008,163	896	896	—	7,009,060
当期変動額						
剰余金の配当		△293,090				△293,090
当期純利益		1,035,549				1,035,549
固定資産圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△7,418	△7,418				△7,418
自己株式の処分	77	111				111
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			176	176	—	176
当期変動額合計	△7,340	735,152	176	176	—	735,328
当期末残高	△2,274,959	7,743,316	1,073	1,073	—	7,744,389

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	387,800	330,800	88	330,888	46,800	86,918	4,100,000	5,065,869	9,299,588
当期変動額									
剰余金の配当								△322,298	△322,298
当期純利益								1,169,187	1,169,187
固定資産圧縮積立金の取崩						△3,026		3,026	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			124	124					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	124	124	—	△3,026	—	849,915	846,888
当期末残高	387,800	330,800	213	331,013	46,800	83,891	4,100,000	5,915,785	10,146,476

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△2,274,959	7,743,316	1,073	1,073	—	7,744,389
当期変動額						
剰余金の配当		△322,298				△322,298
当期純利益		1,169,187				1,169,187
固定資産圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△13,672	△13,672				△13,672
自己株式の処分	244	369				369
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			162	162	3,333	3,495
当期変動額合計	△13,427	833,585	162	162	3,333	837,081
当期末残高	△2,288,387	8,576,902	1,235	1,235	3,333	8,581,471

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,491,908	1,657,447
減価償却費	204,262	174,079
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,070	15,528
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	53,920	53,107
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	60,986	△21,123
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	1,250
その他の引当金の増減額 (△は減少)	167	1,098
受取利息及び受取配当金	△4,404	△4,124
売上債権の増減額 (△は増加)	84,898	16,544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△185,671	△193,386
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,603	67,294
受取補償金	—	△45,859
その他	127,404	66,372
小計	1,860,145	1,788,250
利息及び配当金の受取額	3,903	3,678
法人税等の支払額	△563,538	△446,769
補償金の受取額	—	33,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,300,510	1,378,159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,500,000	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	2,500,000
投資有価証券の取得による支出	△9,369	△50,000
投資有価証券の売却による収入	19,452	—
投資有価証券の償還による収入	50,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△76,587	△551,499
無形固定資産の取得による支出	△8,770	△8,059
その他	△38,451	△78,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563,727	△88,420
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△7,418	△13,672
自己株式の売却による収入	111	369
配当金の支払額	△292,661	△322,003
新株予約権の発行による収入	—	3,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,968	△331,973
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	436,815	957,765
現金及び現金同等物の期首残高	1,992,698	2,429,513
現金及び現金同等物の期末残高	2,429,513	3,387,279

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

1 関連会社に関する事項

当社は、関連会社を有していません。

2 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有していません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	357.45円	396.13円
1株当たり当期純利益	47.79円	53.98円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	53.74円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	1,035,549	1,169,187
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,035,549	1,169,187
普通株式の期中平均株式数(株)	21,667,502	21,659,482
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	97,730
(うち新株予約権(株))	—	(97,730)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	7,744,389	8,581,471
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	3,333
(うち新株予約権(千円))	—	(3,333)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	7,744,389	8,578,138
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	21,665,630	21,654,920

- 3 当社は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。各事業年度の1株当たり情報の各金額及びその算定に用いられた株式数は、2020年4月1日付及び2021年4月1日付の株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 4 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として、2021年2月8日開催の取締役会決議に基づき株式の分割を行ったため、2021年4月1日付をもって発行済株式の総数が2,249,481株増加いたしました。

当該株式の分割の内容は、以下のとおりであります。

- (1) 2021年4月1日付をもって、普通株式1株を1.1株に分割する。
- (2) 分割の方法

2021年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有株式数を、1株につき1.1株の割合をもって分割する。

なお、1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、2021年2月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について、また同年2月24日開催の取締役会において、その具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことについてそれぞれ決議し、自己株式の取得を実施いたしました。

#### 1. 買付け等の目的

当社は、2021年2月8日開催の取締役会において、2021年3月31日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式1株につき1.1株の割合をもって分割すること(以下「本株式分割」といいます。)を決議しております。

2020年12月上旬、当社の主要株主及び主要株主である筆頭株主である株式会社英和商事より、その保有する当社普通株式の一部である660,000株(発行済株式総数に対する割合:3.35%、本株式分割後の所有割合:3.05%)を売却する意向がある旨の連絡を受けました。

当社は同社からの連絡を受けて、一時的にまとまった数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場価格に与える影響、並びに当社の財務状況等を総合的に勘案し、2020年12月中旬より当該株式を自己株式として取得することについての具体的な検討を開始いたしました。

その結果、2020年12月下旬、当社が売却意向株式を取得することは、当社の1株当たり当期純利益(EPS)の向上や自己資本当期純利益率(ROE)等の資本効率の向上に寄与すること、また、かかる売却意向株式の取得を行った場合においても、当社の財務健全性及び安全性は今後も維持でき、配当方針にも大きな影響を与えない見込みであることから、かかる売却意向株式の取得が株主の皆様に対する利益配分に繋がるものと判断いたしました。

また、自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

- |               |                          |
|---------------|--------------------------|
| (1) 取得する株式の種類 | 普通株式                     |
| (2) 取得する株式の総数 | 750,000株 (上限)            |
| (3) 取得価額の総額   | 950百万円 (上限)              |
| (4) 取得する期間    | 2021年2月25日から2021年4月30日まで |

3. 公開買付けの概要

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| (1) 買付け期間      | 2021年2月25日から2021年3月24日まで (20営業日) |
| (2) 買付け等の価格    | 1株につき金1,263円                     |
| (3) 買付け予定数     | 749,900株                         |
| (4) 公開買付け開始公告日 | 2021年2月25日                       |
| (5) 決済の開始日     | 2021年4月15日                       |

4. 本公開買付け等の結果

2021年4月15日付で、株式会社英和商事より普通株式660,000株(833,580千円)を取得いたしました。